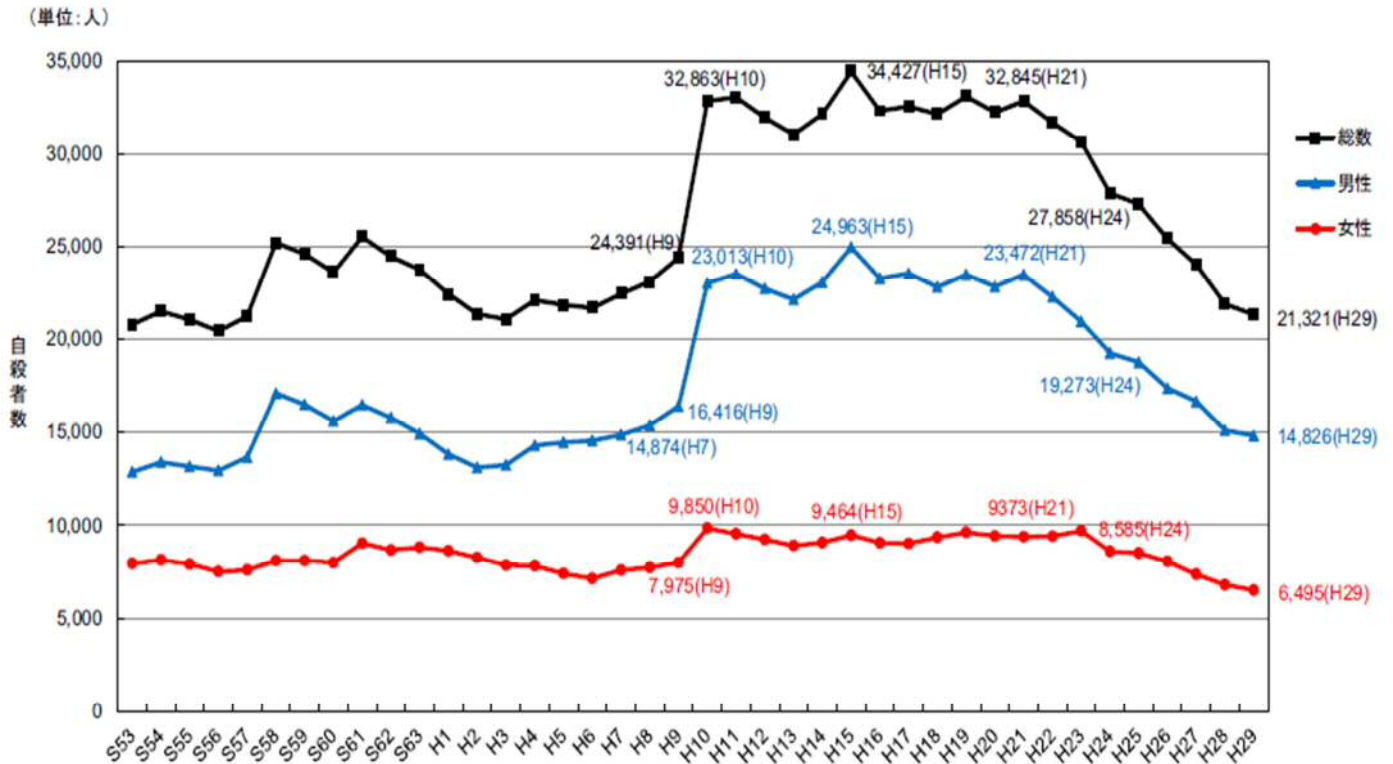


自殺者の状況について

1 全国の自殺に関する状況

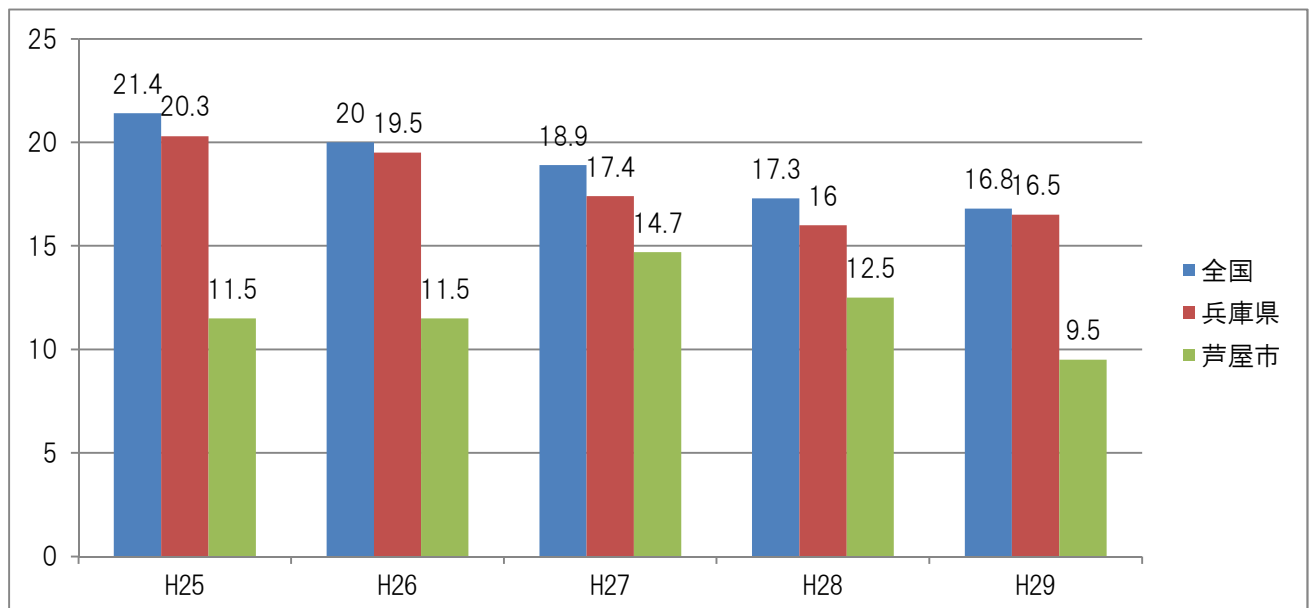


警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

○平成 29 年の自殺死亡者数は、21,321 人となり、対前年比 576 人(約 2.6%)減。平成 22 年以降、8 年連続の低下となっている。

○男女別にみると、男性は 8 年連続の減少であり、平成 7 年以来 22 年ぶりに 1 万 5,000 人を下回った。女性は 6 年連続で減少し、昭和 53 年から始めた自殺統計で過去最少となっている。また、男性の自殺者数は女性の約 2.3 倍となっている。

2 全国、兵庫県との自殺率の比較



人口動態統計による自殺率を参考に作成

3 芦屋市の自殺に関する状況(地域自殺実態プロフィールより引用)

① 自殺者数の推移

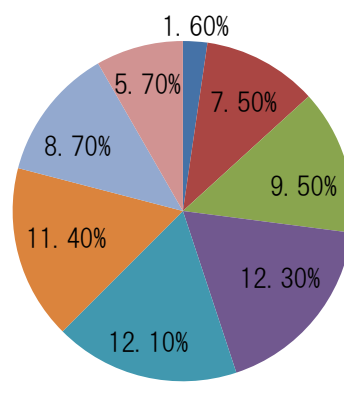
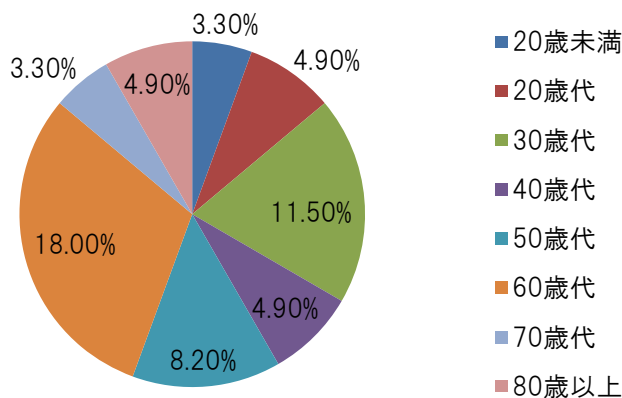
	H25	H26	H27	H28	H29	合計	平均
人口動態統計 自殺者数	11	11	14	12	9	57	11.4

② 自殺者の性別, 年齢別割合(平成 25 年～平成 29 年合計)

男性

芦屋市

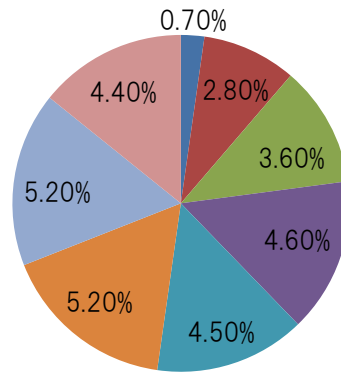
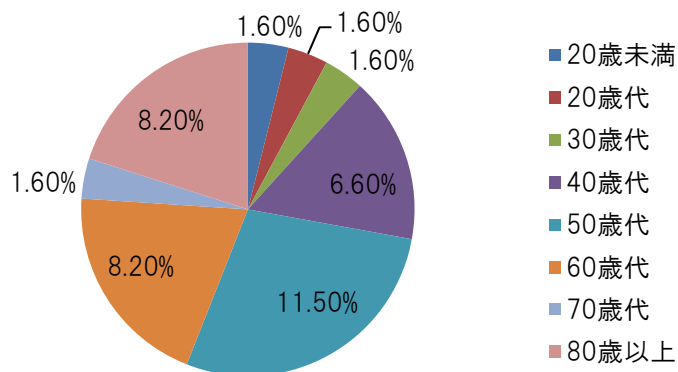
全国



女性

芦屋市

全国



③ 地域の主な自殺の特徴(平成 25 年～平成 29 年合計)

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率 * (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性 60歳以上無職独居	6	9.8%	106.3	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
2位:女性 60歳以上無職独居	5	8.2%	21.2	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性 60歳以上有職同居	5	8.2%	20.6	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺/②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺
4位:女性 40～59歳無職同居	5	8.2%	11.8	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
5位:女性 60歳以上無職同居	5	8.2%	8.9	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

*自殺死亡率の母数(人口)は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013(ライフリンク)を参考